

明和町内企業 CSR 紹介

近畿日本鉄道 明星列車区長 深川 浩氏
助役 奥野 能規氏

〒515-0313 多気郡明和町大字明星 2597
TEL0596-52-7738 FAX 0596-52-7738



CSR 活動取材させて

下さい！

うちの会社の活動を紹介して！
地域の為に何かしたいと思っている！
そんな企業担当者様、是非上記まで
ご連絡ご相談下さい！

担当：山田・西中

乗客皆さんに「安全」に「安心」して ご利用頂く為の日々の取組

私たち明和町民のみならず、三重県民にとって欠かす事の出来ない公共交通機関である「近鉄」さん。通勤、通学利用はもちろんの事、伊勢志摩の観光地へ来られる方等、多くの方にとって親しまれている「近鉄」さんが、常に心掛けている事が「お客様を安全に目的地まで輸送すること」。「障がいをお持ちのお客様や高齢のお客様にも快適にご利用頂ける様お手伝いをする事も日常的な仕事です」と区長の深川さんは穏やかな口調でお話し下さいます。

監督者の大半は「サービス介助士 2 級」の資格を取得し、訓練においては「高齢者疑似体験セット」を着用して、お身体が不自由なおお客様の身になる事で「どういったお手伝いが必要か」という事を身をもって体感しているそうですが、多くの乗務員さんにはその経験がなく、その訓練に際して「社協」へご相談頂きました。

今回の連載では、「近鉄」さんが乗客の皆さんに安全安心してご利用いただく為の日々の取組と併せて、「明和町障害者の会」との意見交換会や会員さんの訓練参加など様々な取組に拡がった経緯をご紹介します。

安全、安心への思いが 新たなご提案、出会いに繋がる

昨年 7 月、ご相談を受けて毎年行われている乗務員の皆さんへの訓練に私達社協も視察参加をさせていただきました。「高齢者疑似体験セット」を着用した上で、通常時の乗降動作から非常時の避難誘導までを事細かに訓練されており、乗務員同士が体感する事で、「こんなに動きにくいのか…。これからは障がいをお持ちの方やお年寄りのお客様を見かけたら、扉の取扱いはなお細心の注意を払う必要がある」「降車途中の放送はお客様を焦らすことになり、転倒の危険があるのではないか」等、体験したからこそ感じる率直な意見交換がされており、乗務員の皆さんがいかに乗客の安全安心に対して高い意識をもって業務にあたられているのかを目の当たりにしました。

乗務員の皆さんの思いの強さに心打たれた私達は、ある提案をさせていただきました。「是非、障がいをお持ちの方も一緒に訓練に参加してもらい、生の声を聞いてもらえたら、私が間接的に伝えするよりも、より実務に即した訓練ができるのではないのでしょうか？」

深川区長さんははじめ、皆さん「是非！」と言っていた頂き、お忙しい中調整をしてもらい、当事者の方も交えた意見交換会と訓練が 10 月と 2 月に実施されました。



乗務員同士の訓練の様子

「明和町障害者の会」と共に 安全安心を考える

意見交換会と訓練にあたり、社協から「明和町障害者の会」にご相談した所、会長さんをはじめ皆さん「私たちの「声」が、日頃お世話になっている近鉄の皆さんのお役に立てるのであれば是非！」とご快諾頂きました。当日は視覚障がいをお持ちの会員 2 名とそのご家族が参加され、電車利用時の体験談や介助する時の留意点をお話し頂き、質疑応答では予定時間をオーバーする程、活発に質問が飛び交い日頃の疑問を率直に投げかけられている様子がとても印象的でした。又、訓練に際しても、介助や誘導、お声かけの仕方などを意見交換しながら実施できました。

今回、乗務員さんへの訓練というご相談を頂戴した中で、明和町障害者の会の皆さんもご参画いただき、新たな取組を共に行う事ができました。それも、近鉄明星列車区の皆様が「あらゆる乗客の皆様への安全安心の提供」という企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility) を果たそうという姿勢があってこそその成果とつくづく感じました。今回の取組・取材を通して、今後も近鉄明星列車区の皆様と発展的に「福祉のまちづくり」を進められる嬉しい予感が生まれています！



意見交換会・訓練の様子